

# 不正の予防・早期発見のための 事例で見る不正リスクの許容ライン

～不正防止策を、不正リスクをどこまで許容するかという視点から考える～

◇日時◇ 2019年 1月17日(木) 13:30～16:30

◇会場◇ 東京・麹町「企業研究会セミナールーム」

◇講師◇ 米澤 勝 氏 米澤勝税理士事務所 税理士 公認不正検査士(CFE)

【略歴】1997年12月税理士試験合格/1998年6月税理士登録。1998年2月富士通サポート&サービス(株)(現：株富士通エフサス)入社、経理部配属(財務、債権管理、税務、内部統制担当)。2010年1月同社退職、税理士として独立開業。

【著書・寄稿】「企業はなぜ、会計不正に手を染めたのか—『会計不正調査報告書』を読む」(清文社 2014年10月)「架空循環取引—法務・会計・税務の実務対応」(共著/清文社 2011年3月)

Web情報誌「Profession Journal」に寄稿中、連載記事：「不正会計調査報告書を読む」「租税争訟レポート」  
https://profession-net.com/professionjournal/

◇参加対象◇ 経理部門、監査部門、関連企業部門のご担当者

開催にあたって

会計不正やデータ偽装、書類の改ざんなど、毎日のように企業不祥事が報じられています。日本取引所自主規制法人も、2018年3月30日に公表した「上場会社における不祥事予防のプリンシプル」の趣旨で、「不祥事がまれな事象でなくなった現状において、不祥事の発生そのものを予防する取組みが上場会社の間で実効性を持って進められる必要性が高まって」いることを挙げています。

本セミナーでは、会計不正事例の最新動向を概説したうえで、不正防止に失敗した事例を参考に、「不正リスクの許容ライン」、つまり、どこまでの不正リスクを許容するか、不正防止のための必要最小限の対策はどこまで講じるべきか、「上場会社における不祥事予防のプリンシプル」の趣旨を踏まえながら、解説します。

- \* 申込書にご記入いただいた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業や刊行物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
- \* 「セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより [TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]をご参照下さい。

【受講料】1名 <税込>

正会員	32,400円 本体価格 30,000円	一般	35,640円 本体価格 33,000円
-----	-------------------------	----	-------------------------

申込方法 当会ホームページよりお申込みください。

<https://www.bri.or.jp> \*その他セミナーの最新情報もご覧いただけます。

企業研究会セミナー 検索

- ◎お申込み：当会ホームページまたはE-mailでお申込み下さい。
- \*お申込み後(開催1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送りいたします。
- \*最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。
- \*会員企業一覧は当会ホームページでご確認いただけます。(http://www.bri.or.jp)
- \*お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますのでご出席できない場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。
- \*FAXでお申込みの際、「0(ゼロ)発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願いいたします。(別番号への誤送信にご注意下さい。)

【申込先】一般社団法人 企業研究会 担当:金井

E-mail: kanai@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2階

TEL.03-5215-3550 FAX03-5215-0951

181820-0302	2019.1.17	「事例で見る不正リスクの許容ライン」	
会社名			
住所	〒		
部課 役職		フリガナ お名前	
TEL	FAX		
E-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
TEL	FAX		
E-mail			

# 不正の予防・早期発見のための 事例で見る不正リスクの許容ライン

～不正防止策を、不正リスクをどこまで許容するかという視点から考える～

## ◆ プログラム ◆

■日 時：2019年 1月17日（木） 13：30～16：30

■講 師：米澤 勝氏 米澤勝税理士事務所 税理士 公認不正検査士（CFE）

-解説-

13:30

### 1. 最近の会計不正をめぐる動向

- (1) 公表されたデータから見る会計不正
- (2) 第三者委員会等の設置状況
- (3) 証券取引等監視委員会「開示検査事例集」
- (4) 日本取引所自主規制法人「上場会社における不祥事予防の  
プリンシパル」

### 2. 不正リスクの許容ライン

- (1) M&A
- (2) 中国企業との取引
- (3) 再発する不正のリスク
- (4) 従業員による横領

### 3. 不正防止対策の現状

- (1) 変化する内部監査部門の位置づけ
- (2) 会計監査人のローテーション制度
- (3) 内部通報制度の整備
- (4) AIと不正会計

### 4. まとめ

<質疑応答>

16:30